

委員会だより

<1月7日(日) 13名出席>

冒頭、清水委員長より'95年度最後の委員会に際し、各委員に任期中の謝辞。

[1] 財務報告:

- ・12月度決算報告
- ・95年度決算報告 監査人富田錦司氏に依頼済
- ・'96年度予算案の提示と話し合い
- ・祭儀費、行事費、教育養成費、修繕費、建設積立金等組み替え
- ・信徒総会提案事項
 1. 教会維持費の若干のアップをお願い
 2. 愛の献金基金の剰余金を一般会計へ繰り入れ
 3. 信徒基金の予算化及び事業計画の説明

[2] お知らせコーナー:

12/24東原秀夫氏より献金100,000円建設会計へ(焼却炉買い換え用にと)

[3] お話し合いコーナー:

- ① '96年度年間予定表(案)の提出
 - 4/28 堅信式 これに関連し関連のパーティーを以下のようにする
 - ・4/7 ご復活のパーティ(サロン形式パーティ)
 - ・4/28 堅信式パーティ(司教様を囲んで)
- 8/25卓球大会 信徒総会主催とする(壮年会まとめ)

- ② '96年度信徒総会プログラム(案)提出
- ③ '96年度教会委員会委員の選出について 教会委員選出委員会より要点説明(橋壮年会副会長) 故位田副委員長の後任に難航中 以上

婦人会だより

<1月21日(日) 48名出席>

- 平成8年度総会、1月度例会及び新年会
- ・7年度会長の挨拶及び各役員の間年行事報告と会計報告
 - ・神父様のお話とお願い



1月度例会

- ・会費は1ヶ月100円とする。
 - ・婦人会として例年通りバザー希望。
 - ・遠足は春に一回とする。
 - ・備品購入の件、必要な物品があれば例会で話し合っって購入する。
- 次回例会 2月18日(日) お茶当番はA地区です。 以上。

壮年会だより

<1月21日(日) 16名出席>

和気あいあいと楽しい新年会でした。 以上。

お知らせ

▶平成8年度献金について (2月4日 財務委員)

1月28日に行われた信徒総会で、月定献金の増額について下記の通り、決定しました。

1. 月定献金「月額100円」の増額

2. 愛の献金「月額100円」を月定献金へ移し替え

以上により、月定献金「月額200円」の増額となります。皆様のご協力をお願い致します。

▶灰の水曜日(2/21)にあたり、昨年(の)枝を2月18日(日)までに教会にお届け下さい。

▶車で来られる人をお願い (教会委員長より)

- ・新車購入や車の買い換えに際し、車の登録簿への記入、変更をお忘れなく。
- ・また御ミサなどで駐車に際し、車の車内フロント部分に持ち主のお名前を書いた名札を置いて下さるようお願い致します。

ミサ 当番表 (96年2月、3月)

月/日	主日	朗読、奉納	備考	オルガン
2/4	年間第五主日	山田	壮年会	森田
2/11	年間第六主日	青年会	青年会	大宮
2/18	年間第七主日	婦人会 A地区	婦人会	岩淵
2/25	四旬節第一主日	清水	壮年会	石川
3/3	四旬節第二主日	小谷	壮年会	森田
3/10	四旬節第三主日	青年会	青年会	大宮
3/17	四旬節第四主日	婦人会 B地区	婦人会	岩淵
3/24	四旬節第五主日	七浦	壮年会	石川
3/31	枝の主日	婦人会 B地区	婦人会	森田



※当番の方は10分前には集合して下さい。
※ご都合の悪い方は典礼委員までお申し出下さい。(萩原: Tel. 802-6258)

今月の予定

委員会 2月4日
 聖歌の集い 2月18日
 灰の水曜日 2月21日 (以降
 毎金曜日pm4時十字架道行)
 レジオ 2月9,16,23日

第211回

カトリック中和田教会
 広報委員会発行
 泉区 中田町 2701
 Tel. (045) 803-6141
 1996年 2月11日

なかわた 会報

96年 2月号

明日への反省 (中)

山崎 正俊

◎ たとえば、ふつうの信徒よりは修道者、それよりは司祭、それよりは司教、という尊さの順位にこだわりすぎる。女性よりは男性という性差別の感情など抜き難いしきたりのなかに社会秩序を置く誤り。たとえば、経験不足とか、学歴の多少や不馴れなこと、社会的な立場とか年齢の長幼とかなどにこだわりすぎる。たとえば、その生活習慣や好みや所属階層、それまでの印象から受けたものなどによる差別感情、リクツなどの通らないものなど。いやどうもわけのわからない、イワクイガタイもの数々——そのようなことなど、聞くだけでも気が重くなるほどのことながら、自分の心の内にも消し難い傾きとして残っている。幼いときから置かれていたらしいおとなたちの生きかたのなかで身に付いたものであれば、うっかりしたばかりでもないのに、わずらわしさをふりまいて平気でおれるのは、あきれたことだ。——新しい指導者たちには突き当たるむつかしさなどがあってはならないことだとして、反射的に悪事が犯罪だと見られるようなのは、なぜか・・・

②

◎ 文字に記されると、偽物になってゆくらしいのは、コトバが(真)シンのものから離れて、まわりをウロツクものにすぎないということを感じているためか。——仏陀とキリストの教えや在り方は、それぞれがまったく別のものと云われているようだが、それは真のものをユビサスその指にこだわることによる愚かさであって、コトバが指のようなもので、そのコトバが示そうとしているその指の先の方向に心眼を開けないところから、それぞれの共通部分が見えず、目立った違うところにだけ心惹かれるからだろう。

◎ 「不立文字／以心伝心／直指人心／即身成仏」のはじめの四文字をひとり歩きさせるようなので、仏(ホトケ)に逢えば仏を殺し、祖(ソ)に逢えば祖を殺すという意味さえ逆にとってしまうようになる。私たちの云いかたによれば、仏とはキリストにあたり、祖とは聖人のなかでも特に優れた大聖人のことでもあろうか。「開かれているのに、いつまで開けてくださいと戸を叩きつづける。何んとバカな奴め、そこにはいればよいのに」と突き離されることになる。「この世が嫌なら、彼の世にお行き。彼の世にあきたら、この世にお帰り。この世のよさがわからねば、坐っておれ」と、煙に巻かれることになる。仏教の輪廻転生の綾によるのだが、おまえがいま立っている処がそのまま真実相ではないかと極めつけられているのにすぎないのだ。

◎ ゴータマ・ブッダは、キリストの最後の最大の敵であると共に、最後の最大の友でもあるというような、わかったようなわからないような云い方もあるが、浄土宗の流れなどは真の仏教をはずれ、そこでの真宗はリクツが先き立ち、時宗なんぞは、念仏に踊り狂うておるものなどと、云い切られておる。

ただ怖いのである

橋 幸雄

昨年の暮れウィンドウズ95が発売され、大変に好評だったようである。私はまだ見たことがない。聞くところによると、データの処理速度が早くなりまた並列作業が可能となったことが大きな特徴だとか。いままでのデータを打ち終わりプリントアウトの時の、ホット一息、タバコの一服・お茶の一杯の時間さえ削り、仕事に追い立てようとしているように思える。パソコンの急激な変革は特異な例としても、世の中なんでもこんなに忙しくなったんだろう。昔は徒歩、いまは車、拳げ句の果てに空まで飛んで時間と喧嘩している。

昔と言っても二十数年前はもっとスピードは緩やかだった。そう東京オリンピック・大阪万国博覧会附近を契機として、二次曲線を描くようにスピードが加速してきた。

新しいシステム、機械の開発、管理手法の熟成など色々あろうが、企業の競争原理とかで常に新しく、良い物、喜ばれる物を他より早く提供するために、そして競争に打ち勝ち、生き残るために先端技術などと称して日々加速度的に進歩させてきた。

ただ私は怖いのである。ずうっと昔人間はゆっくりしたテンポで体の進化に併せて文化を築いてきた。今はどうか、一部のスペシャリストの高度に発展した頭脳が明らかに世の中の進歩をリードしている。社会の一個人が受け入れる、受け入れないにかかわらずである。人間が宇宙に飛び出す時代と言われそうだが、私みたいな機械音痴の人間には、頭はおろか体もついていけないのが現状である。しかし世の要求品質はより高度なものを求める。仕事ではパソコンを手放すことが出来ない。

ただ怖いのである。ある職場に頭脳明晰な若者が配属された。上司からA点B点の間の距離を計測するように指示を受けた。3キロメートルほどの相互間の距離と高低差を数時間で計測し報告した。昔とは言っても二十数年前までは何日かかけて尺取り虫のように計測した。物凄い進歩である。いまは何キロメートル離れていようが光波によって瞬時に高精度で測定が可能である。若者は言った。機械をセットして計測ボタンを押し液晶表示に出た数値を報告した。3回やって許容範囲だったので平均した。それで良いのだろう。過去を見てはいけない。

怖いのである。ある所を十メートルほど掘らなければならなかった。若者が計算を指示された。2時間もしないで計算書ができた。各地で崩壊事故がおき多数の犠牲がでている主要因たる計算である。確かに専門のソフトによって基本データをを入力すると自動的に全てを計算してくれる。十数年前までは分厚い専門書と首っ引きで何回も手計算を繰り返し必要な材料を選定した。何日もかけて。そして心配だから実施段階では現地を何回もチェックし自分の計算との相違を考えた。要求品質は時間を含めてその時の最新技術によって支配される。がパソコンでの結果だから間違いはない、計算経過はパソコンが知る、どこがネックでどこがクリティカルか一枚のフロッピーディスクが知るのみ。人間の持つ生まれた感性はない。

世の最新技術は宇宙に飛び出し、いままで不可能であった事も可能にした。それも人間の能力をはるかに越えて空を飛び、梅に潜り、時間を短縮する。技術は目で、耳で、体で覚えると言った時代は終焉した。

ある横浜の繁華街が年間数センチ海側に滑っている。伊豆のある所は地盤が盛り上がってきた。ある島と島との距離が何センチも縮まった。40年確率の雨量で計画した構造物がある一瞬集中豪雨で壊滅した。80年確率の雨量のためである。

私たちにほんの一部、地球の皮一枚のことも良く判っていない。地震予知しかりである。原子、分子の中に宇宙がある。宇宙はある生命体の一分子。私たちはその中の点、「地球」の表面に、ある一瞬の間、寄生する生命体。と言ったら悲しくなるが

しかし、私たちは判っていない、ほんの一部、隅っこをかじった程度しか判っていない。判っていないものを越えることは出来ない。越えることが出来ないのなら、もっとスピードを緩めて、・・・手が・足が・頭がついてゆける程度に・・・

いまのままでは破壊される。・・・人間が生み出した能力に・・・



教会委員メンバー分担表

一九九六年
一九九七年 任期二年

委員長(総括)	清水聖
副委員長(行事、設備)	花坂洋一
副委員長	小野寺功
(渉外、青少年問題)	
典礼	萩原 政弘
	平瀬 晃
布教(要理学校)	小山 恭子
	井上 昭男
財務	石井 悠子
	甲斐 至信
広報	福島 清
	岩淵 英介
書記	小野 雅彦
	以上

年頭にあたり

明けましておめでとうございませう。さて、委員選出委員会の推薦により、委員長の要職をお引き受けすることになりました。私で良いのだろうかと思つた。既に二期(四年)務めさせて頂きました。此の四年間何をしたのかと反省してみますと、神様のお恵みを頂き、又皆様方のご協力を頂き、急がず、あわてず「をモットー」にしてまいりましたが、教会建物の老朽化による、諸設備の改修、環境の整備に追い回されたのが実状と思つています。然らば、これからの一期をどうしたら良いのでしょうか。皆様も「聖年に向けて」をお読みになりましたか。日本の教会の歩み、これからの福音宣教について濱尾司教様が書きになったています。キリストの愛を私達だけのものにするのではなく、地域に根ざした教会、司教様や神父様の云われる開かれた教会にしていくための努力を重ねたいと思つています。共に祈り、共に学び、共に奉仕したいと考えています。

昨年十月には、位田副委員長を失う悲しい出来事がありました。新任に、小野寺さん、平瀬さん、ベテランの委員の方々が留任して下さいましたので、体制は万全です。事ある毎に、神父様が撮ってくださった写真と並べてみますと、年齢を重ね、確かに、髪は減り、白くなってまいりましたが、神様のお恵みでしよう、幸せに満ちた良い顔で写る様になりました。神父様のご指導、各委員、先輩諸氏、壮年会、婦人会の皆様のご支援を頂き、力一杯務めさせて頂きたいと思つています。どうぞ宜しくお願い致します。

平成八年一月二十日
清水聖

壮年会会長 井上昭男

昨年は年の始めに神戸大震災、またサリン事件等あまり明るいことがなく、当教会でも、壮年会会員であり、教会のリーダー的な方であった位田様が御他界されるなど、いろいろなことがあり、あっといふ間に一年が過ぎ去った様な気がしました。

壮年会も昨年は皆様の御協力のおかげで、例年通りの行事は出来たのではと思つております。

教会でも、宣教、福祉、青少年等の問題があります。壮年会でも、このような問題の中で出来ることがあるはずなので、会員の皆様と話し合つて行きたいと思つております。

今年も明るく、元気でやっつけていきたいと思いますので、会員の皆様のご協力をお願い致します。

婦人会長 栗田初恵

天の配剤と申しましようか、今年、予想にも始まったお役目を仰せつかりました。何事にも始めはあれと言いますが、今回のそれは私にとりまして些か重荷である事には間違いないありません。

いままでは、日曜礼拝に参加するだけの私は、教会(婦人会)の仕事の内容について全くの白紙状態でありまして、何をすることも出来ていません。従いまして今年も進むことができません。役員の方々は勿論、教会のお仕事にも増して、お役目の方々の皆様の強力なサポートをお願い申し上げます。

最後に、役員と致しましては全員で足りない所を補い合つて、一年間楽しく仕事が出来ますように、・・・と考えて居りますので、どうぞ宜敷く。

一九九六年度 信徒総会プログラム

一九九六年 一月二八日

はじめのことばとお祈り 萩原委員

山崎神父様お話し

議事進行

議長挨拶

新委員紹介 教会委員選出委員 橋幸雄氏
(壮年会副会長)

一九九五年度教会活動報告 鈴木富雄氏
委員長

青少年問題について 鈴木富雄氏

一九九五年度教会財務収支報告 福島委員

一九九六年度教会予算提出審議 甲斐委員

監査報告 監査人 富田錦司氏

一粒会財務報告及び事業報告 一粒会 小谷委員

信徒預金会計報告及び事業報告 甲斐委員

一九九六年度教会行事予定説明 委員長

宣教委員会(第五地区)(任期一九九六年) 甲斐至信氏
丸田綾子氏

横浜教区福祉委員会 担当 清水聖氏

質疑応答

おわりのことばとお祈り 萩原委員

以上

信徒総会議事

<1月29日 45名参加>

1. 主祷文、神父様挨拶、議長選出

2. 新委員12名の紹介:

「委員選出委員会(山崎神父様、橋、阿部、宮崎の各氏)」による

3. 95年度教会活動報告(清水委員長):

神戸大地震、一連のオウム騒ぎに始った95年を振りかえって、主立った教会活動、出来事が説明された。位田義男氏が帰天されたこと、及び同氏が取組んで来られた「青少年問題」については、鈴木さんを中心とする、岩崎さん、小山さんのグループが引継いで推進すること、またこの問題は、決して青少年に限られた課題ではなく、5~10年後の中和田教会の姿を考える、教会全体の課題であること、等が説明された。

4. 95年度教会財務報告(福島さん):

以下、()内の数値は予算

決算概要は、次の通り。

●一般会計決算: (予 算)
収入 ¥8,299,869 (¥6,073,484)
支出 ¥7,363,922 (¥6,073,484)
収支差(繰越金) ¥ 935,947 (¥ 0)

●建設会計決算:
収入 ¥4,099,544 (¥ 603,598)
支出 ¥ 266,500 (¥ 300,000)
収支差(繰越金) ¥3,833,044 (¥ 303,598)

●愛の献金決算:
収入 ¥ 993,295 (¥ 791,679)
支出 ¥ 342,833 (¥ 330,000)
収支差(繰越金) ¥ 650,462 (¥ 461,679)

・月定献金が、前年度より増加しており、福島さんより謝意表明あり。

・会計監査人の富田錦司氏より、監査を1月15日に行い、その結果、全く問題無いことを確認した旨報告あり。

5. 96年度教会予算説明(甲斐さん):

予算概要は、次の通り。

●一般会計決算:

収入 ¥6,235,947
支出 ¥6,235,947
収支差(繰越金) ¥ 0

●建設会計決算:

収入 ¥4,133,044
支出 ¥2,000,000(下水工事、天井張替え)
収支差(繰越金) ¥2,133,044

●愛の献金決算:

収入 ¥1,100,462
支出 ¥ 320,000
収支差(繰越金) ¥ 780,462

・山崎神父様が出しておられる献金に大きく依存している財務状況に鑑み、信徒各位に対して、

- (1) 月定献金の100円/月の増額して頂くこと、
- (2) 愛の献金から100円/月を、一般会計の方へ移行して頂くこと、の要請が行われた。

注1: 即ち一般会計で一人当たり200円/月増額。

注2: 本内容は、上記予算案に織込み済み。

・愛の献金については、毎年収支差が広がっていく傾向にあり、今後、建設会計にまわしていくことを考えたい(甲斐さん)。

6. 信徒会会計報告(甲斐さん):

●95年度収支:
収入 ¥778,784
支出 ¥247,532
次期繰越金 ¥531,252

●96年度支出案:
支出 ¥460,000

・この支出案については、壮年会長、婦人会長了承済み。

7. 一粒会報告(小谷さん):

●95年度中和田教会収入決算:
¥414,435 (予算は¥400,000)、
(中和田教会教会の一粒会会員数は81名)

●引続き、一粒会大会報告、
・教区神父様、金祝、銀祝、
・一粒会会則改定、
・委員増員申請(3名へ)の届出状況、
の説明を頂いた。

8. 96年度教会行事予定(清水さん)

配布の予定表に基づいて、説明。

9. 第5地区宣教委員会報告(甲斐さん) :

(中和田教会の委員は、甲斐さん、丸田さん)

- ・ 宣教委員会の95年度活動報告につき説明。
 - ・ この委員会では、各教区共通課題の討議、活動報告、問題提起、横浜教区の問題、当番教会神父様からの話題提供、等の活動を行なっており、95年度には3回委員会が開催された。
 - ・ 中和田教会は、前述の故 位田義男氏を中心に活動してきた「青少年対策を考える会」の進捗状況をこの委員会で報告して来た。
- 次回は、2月25日であるが、実施済みのアンケート分析結果を報告する予定。
- ・ 司牧教区評議会より、「環境問題」についてのアンケートが来ているが、中和田教会としては、『地域密着型の活動』を中心に回答/提案していく予定。

10. 横浜教区福祉委員会 (清水さん) :

この委員会は94/9/21に発足したが、既に基金は教区全体で73百万円集まっている。中和田教会は、愛の献金の一項目として、「横浜教区福祉基金」を組込み、年額4万円を拠出していく。

11. 質疑応答、要望、課題提起など :

- ・ 「青少年問題」対策を、是非中和田教会の重点施策として 推進して欲しい。(東原さん)

- ・ 信徒会より支出されている「典礼備品」代は、本来一般会計の「祭儀費」より支出されるべきではないか? (岩崎さん)
- ・ バザーの目的の一つに「将来の教会建設の為の資金」の意味がある。信徒会計の一部を、建設会計へ繰込むことは考えられないのか? (岩崎さん) ⇒ 繰込む方向で進める (甲斐さん)
- ・ 聖歌集の棚、個人用と教会用とで分けられないのか? 外来者が来た時に困る。(岩崎さん)
- ・ 福祉委員会の状況を、皆にわかる様、情報を流して欲しい。(岩崎さん)
- ・ 今後、教会建物の傷みが進んでくるので先々が心配。一般会計の窮状からみて、建設積立金(一般会計)300,000円だけでは・・・(位田さん) ⇒ これ以上、お金のことをお願いしづらい状態にある (山崎神父)
- ・ 教会も、地震の保険をかけることは考えないのか? (阿部さん) ⇒ 保険の件は、教区の決定事項であり、教会単独で決められない。
- ・ 要理学校が終了して、中学生になると、何だか放り出された感じになる。旧応接室も事務室となり、集える場所もない。何とかならないか? (島倉さん) ⇒ 重要な問題であり、今後の検討課題。

以上

信 徒 預 金 報 告

平成7年度収支内訳(1/1 ~ 12/31)

項目	金額	
収入	前期繰越金	390,040
	バザー収益金	387,665
	預金利息	1,074
	計	778,784
支出	外灯修理費	185,400
	照明器具購入	62,132
	計	247,532
次期繰越金	531,252	

平成8年度支出案

項目	金額	内訳
典礼備品	70,000	典礼聖歌集(20)祭儀のしおり(50)他
卓球大会	50,000	壮年会開催
サロン・ご復活	70,000	中和田サロン、ご復活親睦
青少年対話費	30,000	青少年問題アンケート対象者との対話
コピー機購入	240,000	B4 拡大・縮小
計	460,000	

◎ 信徒頭金はバザー開催など信者の活動によって得られた収益を、教会と信徒のために、有効に活用するもので、教会運営費の支援と信徒の教育養成、親睦などへ支出をすることとします。具体的用途は、建設積立金・備品購入・補修費・典礼用品購入・およびセミナー参加費・講演会開催・サロン・卓球大会・青少年との対話など。
教会委員会

カトリック 中和田教会 自衛消防隊

平成8年1月1日 改

隊長 山崎神父

